

## 平成27年度第2回京都市中央卸売市場第一市場運営協議会 会議録

日 時 平成28年3月25日（金）午後1時30分から午後2時30分まで

場 所 京都市中央卸売市場第一市場 関連10号棟大会議室

### 出席委員 21名

京都市中央卸売市場協会	会 長	池本 周三（会長職務代理者）
市民公募委員		石倉 紘子
京都青果小売商組合連合会	会 長	石塚 清三
新日本婦人の会京都府本部	副 会 長	魚山 栄子
京都中央総合食品協同組合		大谷 啓子
京都水産物小売団体連合会	会 長	岡本 勲
大京魚類株式会社労働組合	委 員 長	小倉 達朗
京都市中央卸売市場関連事業者連合会		小野 博子
京都野菜卸売協同組合	理 事 長	久世 明
京都大学大学院農学研究科	准 教 授	工藤 春代
住みよい京都をつくる婦人の会	副 会 長	佐川 早苗
京都市中央卸売市場関連事業者連合会	会 長	澤田 利之
京都塩干魚卸協同組合	理 事 長	辻 泰三
京都中央市場青果卸売協同組合	理 事 長	中川 恵司
市民公募委員		中島 醇子
京都市地域女性連合会	常任委員	中野 比佐子
京都大学大学院農学研究科	教 授	新山 陽子（会長）
京都中央総合食品協同組合	理 事 長	野村 憲司
京都塩干魚卸協同組合		橋本 玲枝
京果労働組合	執行委員長	長谷川 知義
株式会社大水京都支社	支 社 長	濱崎 徹

### 欠席委員 4名

京都青果合同株式会社	代表取締役社長	内田 隆（会長職務代理者）
市民公募委員		浦 詩織
大京魚類株式会社	代表取締役社長	大石 光二
全国農業協同組合連合会京都府本部	本 部 長	宅間 敏廣

**議題 1** 「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン」骨子案への市民意見募集結果について

**議題 2** 「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン」(案)について

**議題 3** 京都市中央卸売市場第一市場整備工事に係る基本設計受託業者の選定結果について

**【議題 1】** 「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン」骨子案への市民意見募集結果について

**【議題 2】** 「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン」(案)について

「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン」骨子案への市民意見募集結果について及び「京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン」(案)について、事務局から説明。

- 小売店や生産者がどのようなことを期待しているかを積極的に調べ、小売店と生産者のつながりをもっと強くするよう取組むべきである。

(事務局)

- マスタープランにそった具体的な取組を進めていくなかで、小売店と生産者のつながりが強くなるよう引き続き取組を推進していく。
- マスタープランに記載された内容については、すべてを網羅していると思う。マスタープランに記載された内容を、開設者と場内事業者が一体となって実行していくことが重要である。

(事務局)

- マスタープランに記載している取組を卸・仲卸・小売・開設者が一体となって進めていかないと内容を実現することは難しいと考えている。  
施設整備を契機として、今まで行えていなかった取組を行うことで、大変厳しい状況ではあるが、施設整備期間中に取扱数量の維持・拡大を図りたいと考えている。
- 市民意見の募集について、30代男性からの意見が多いと感じるが、職種等についてはいかがか。また、あじわい館の料理教室はすぐに満員になってしまうが、その点は改善できないのか。

(事務局)

- 市民意見を募集する際に、職業の記載欄を設けていないため、正確には不明であるが、場内事業者を中心に意見をいただいたので、場内事業者が多いのではないかと思う。また、あじわい館の料理教室については、今まで以上に内容の充実を図りたいと考えている。

- 環境への配慮の観点から、太陽光パネルの設置等の記載があるが、具体的にどのような施設を想定されているのか。また、あじわい館の場所がわかりにくいという印象を受ける。
- 一部の仲卸業者が小売活動を行っていることが見受けられるが、卸売市場内で小売業を行うことに対する取締りをしっかりと行って欲しい。
- 以前よりも格段に減ってきたが、市場内のごみ対策を徹底的に行って欲しい。再利用を行うなど、より一層、市場内のごみの削減に取り組んでいただきたい。
- 平成18年度から比べて、可燃ごみは半減している。今後、より一層の取組を推進していく。また、仲卸業者の小売活動については、徹底して取締りを行っていく。
- マスタープランには、卸売市場は小売をするところではないと明確に記載されている。
- 市民は卸売市場で食材を購入したいと思っている。市民に対しては、小売店で購入することが、卸売市場で購入することと同義であることをアピールする必要がある。卸売市場から仕入れをしている小売店を明確にする取組を継続していく必要がある。また、マスタープランには、小売店で購入することが、卸売市場で購入することと同義であることを明確に記載する必要がある。さらに、卸売市場を経由した食材がレストラン等で取り扱われ、そのレストランを通じて観光客に消費される等、具体的な流れをマスタープランに盛り込んでいただきたい。
- 京の伝統的な食文化である「和食」を食材供給の観点から支えているのは、卸売市場であるということを明確に記載する必要があると思う。
- トレーサビリティーの確保についての記載がないため、追記するようお願いしたい。

(事務局)

- 卸売市場を経由した食材が安心・安全であることを市民にお伝え出来る仕組み、例えば、何か問題が起こった時に、明確にその問題を検証出来る仕組みを作っておく必要があると考えている。具体的には、HACCPの仕組み、トレーサビリティーの仕組み等をマスタープランの計画期間中に取り入れることを考えている。

(事務局)

- 小売店の営業が成り立たなくなれば、市民の食生活に影響がでると考えており、小売店は市場流通の過程で重要な役割を担っていると認識している。卸売市場から小売店を経由して消費者へ流通していることが市民に伝わるよう、消費者にPRしていく。

(事務局)

- 環境の対策については、省エネの観点から太陽光発電の装置やLEDを使用する等によって環境に配慮した施設を検討している。しかし、卸売市場は場内事業者の使用料で運営されているため、環境の対策と場内事業者の負担との兼ね合いを考え、設備を導入する。

**【議題3】 京都市中央卸売市場第一市場整備工事に係る基本設計受託業者の選定結果について**

<京都市情報公開条例第7条5号に該当するため、非公開>